



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月2日

上場会社名 カンダホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9059 URL <https://www.kanda-web.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原島 藤壽

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 浦野 聡昭 TEL 03-6327-1801

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	25,960	12.8	1,373	△11.4	1,437	△7.1	833	△13.4
2022年3月期第2四半期	23,005	6.7	1,550	41.7	1,548	33.6	962	25.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 769百万円 (△18.2%) 2022年3月期第2四半期 941百万円 (△10.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	77.46	—
2022年3月期第2四半期	89.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	41,284	21,160	51.3
2022年3月期	41,247	20,563	49.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 21,160百万円 2022年3月期 20,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2023年3月期	—	17.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,800	2.4	3,100	2.4	3,150	1.7	2,080	6.8	193.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細につきましては、四半期決算短信(添付資料)7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	11,654,360株	2022年3月期	11,654,360株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	891,512株	2022年3月期	891,512株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	10,762,848株	2022年3月期2Q	10,762,886株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(連結子会社の四半期決算日等に関する事項)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波により感染者が急増し、そのピークアウトに伴い各種規制が緩和される一方、ウクライナ情勢を契機とした世界的な原材料やエネルギー価格の高騰に伴うインフレが進展し個人消費の冷え込みが懸念され、国内では急速な円安の進展も加わるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、物流業界におきましては、国内外における貨物量は回復傾向にあるものの、原油価格は高止まりで推移していることから燃料価格の負担は続き、依然として厳しい環境にあります。

当社グループにおきましては、国内部門では、食品・衛生用品・日用雑貨等の貨物量が引続き堅調に推移していることから営業収益は増収となっているものの、燃料価格をはじめとする各種コストの増加等により、利益面におきましては前年を下回っております。一方、国際部門では、世界各地の経済活動制限により減少した国際輸送需要が増加に転じる中で、航空便の減便、コンテナ不足、港湾混雑等による航空・海上貨物輸送スペースの供給不足といった要因による特需的な需給の逼迫とそれに伴う運賃高騰の状態は継続しております。

このような状況の下、新たに策定した中期経営計画（2022年4月から2025年3月）に基づき、営業力の強化による収益性の向上を図るとともに、燃料価格の上昇に伴う適正運賃の確保や更なる効率化等、利益の向上に向けた取り組みをスピードを持って進めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は25,960百万円（前年同四半期比12.8%増）となり、営業利益は1,373百万円（前年同四半期比11.4%減）、経常利益は1,437百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失として子会社における送金詐欺損失などを計上した結果、833百万円（前年同四半期比13.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、15,752百万円（前連結会計年度末は15,458百万円）となり、293百万円増加しました。現金及び預金の増加433百万円、受託現金の増加195百万円、受取手形、営業未収金及び契約資産の減少176百万円、リース投資資産の減少71百万円が主な要因です。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、25,531百万円（前連結会計年度末は25,789百万円）となり、257百万円減少しました。建物及び構築物（純額）の減少142百万円、その他（純額）に含めて表示しております機械装置及び運搬具（純額）の減少91百万円が主な要因です。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、13,268百万円（前連結会計年度末は13,374百万円）となり、105百万円減少しました。預り金の増加196百万円、支払手形及び営業未払金の減少145百万円、短期借入金（一年内返済予定長期借入金含む）の減少128百万円が主な要因です。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、6,854百万円（前連結会計年度末は7,309百万円）となり、454百万円減少しました。長期借入金の減少302百万円、リース債務の減少120百万円が主な要因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、21,160百万円（前連結会計年度末は20,563百万円）となり、597百万円増加しました。利益剰余金の増加661百万円が主な要因です。

この結果、自己資本比率は1.5ポイント上昇し、51.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結累計期間の業績予想につきましては、前回発表（2022年5月13日付）の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な不確定要素や今後の業況等により、実際の業績とは異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,500	5,934
受託現金	2,767	2,962
受取手形、営業未収金及び契約資産	5,665	5,488
棚卸資産	149	144
前払費用	342	323
リース投資資産	667	596
その他	374	312
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	15,458	15,752
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,477	8,335
土地	9,879	9,879
その他（純額）	2,630	2,521
有形固定資産合計	20,988	20,736
無形固定資産	808	760
投資その他の資産	3,991	4,034
固定資産合計	25,789	25,531
資産合計	41,247	41,284
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,817	3,672
短期借入金	3,549	3,421
未払法人税等	525	431
預り金	2,873	3,070
賞与引当金	340	387
その他	2,268	2,285
流動負債合計	13,374	13,268
固定負債		
長期借入金	3,469	3,166
リース債務	804	683
役員退職慰労引当金	300	289
退職給付に係る負債	1,090	1,111
資産除去債務	43	43
その他	1,600	1,559
固定負債合計	7,309	6,854
負債合計	20,684	20,123

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772	1,772
資本剰余金	1,634	1,634
利益剰余金	17,052	17,713
自己株式	△330	△330
株主資本合計	20,128	20,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	452	432
為替換算調整勘定	△16	△46
退職給付に係る調整累計額	△17	△15
その他の包括利益累計額合計	418	370
非支配株主持分	16	0
純資産合計	20,563	21,160
負債純資産合計	41,247	41,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収益	23,005	25,960
営業原価	20,391	23,397
営業総利益	2,613	2,562
販売費及び一般管理費		
役員報酬	167	203
給料及び手当	342	353
賞与引当金繰入額	37	52
退職給付費用	15	17
役員退職慰労引当金繰入額	13	14
その他	485	547
販売費及び一般管理費合計	1,063	1,188
営業利益	1,550	1,373
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	50	38
為替差益	—	39
その他	42	35
営業外収益合計	92	113
営業外費用		
支払利息	30	26
保育園運営費用	22	20
為替差損	25	—
その他	16	2
営業外費用合計	94	49
経常利益	1,548	1,437
特別利益		
固定資産売却益	11	6
特別利益合計	11	6
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
子会社における送金詐欺損失	—	40
特別損失合計	0	41
税金等調整前四半期純利益	1,558	1,403
法人税等	595	569
四半期純利益	963	833
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	962	833

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	963	833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	△20
為替換算調整勘定	△5	△46
退職給付に係る調整額	1	2
その他の包括利益合計	△21	△63
四半期包括利益	941	769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	941	785
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(連結子会社の四半期決算日等に関する事項)

連結子会社のうち、Pegasus Global Express (Thailand) Co.,Ltd. 及びPT.Pegasus Global Express Indonesiaの第2四半期決算日は6月30日であります。当該四半期決算日の四半期財務諸表を用いて四半期連結財務諸表を作成しております。ただし、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。